

グーズベリー (セイヨウスグリ)

グーズベリーは1～1.5cmほどの直径の果実です。実を採取する時期により、酸っぱさが優先されたり、甘さが優先されたりします。甘さはほんのり優しい甘さであり、果実の中はゼリー状です。実の中には多くの小さな種がありますが口の中で邪魔になりません。皮は残ります。

試験農場で栽培されているグーズベリーは、酸っぱい時期の実が緑色、甘い時期は赤くなる品種です。日本での商業栽培は非常に少ないため全く無名の果実です。

調理法 フランスでは酸っぱい実をグース (ガチョウ) や鶏肉のソースにしたり、実をジャムに加工したり生食にします。

保存法 実そのものでの保存期間は短いのでジャムなどの加工をします。

販売時期 6月中旬から7月の初旬に収穫となります。収穫時期は集中しており長くはありません。

栽培規模 令和2年(2020年)時点では実を採取できる木が5本ありますが、暑さと病気にとっても弱く、毎年木を増やしておりますが生存率は非常に悪いものとなっております。幼木から実が採取できるまでには2～3年ほどかかります。



熟度がバラバラであるため、同色で実を集めるためには木の本数が必要となる



赤(エンジ)色と緑色の硝子玉のような実の模様もかわいらしい